

## 《講習会開催のお知らせ》

### 「コンクリート橋・複合橋 保全マニュアル」の発刊に伴う講習会

主催：公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

後援：(公社) 土木学会、(公社) 日本コンクリート工学会、(公社) 日本材料学会、

(一社) 建設コンサルタンツ協会、(一社) プレストレスト・コンクリート建設業協会

本工学会 PC 技術規準委員会（委員長：池田尚治）のもと、「PC 橋の維持管理マニュアル作成委員会」（委員長：酒井秀昭 中日本高速道路株）では、2014 年に改正された「道路橋定期点検要領（国土交通省道路局）」により、5 年に 1 回の頻度での近接目視などが規定され、道路橋を高精度にかつ効率的に点検、保全するためにマニュアルの策定に取り組んでまいりました。

本マニュアルでは国内で採用されている各種の道路橋において、また、それらの橋梁付属物において、過去の変状事例や実験結果をもとに、効率的な点検や保全ができるよう構造物ごとに取りまとめました。

このたび策定作業を終え、技報堂出版(株)より「コンクリート橋・複合橋 保全マニュアル」を出版する運びとなりました。出版に合わせ、講習会を下記のとおり全国 4 箇所の会場で開催いたします。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

#### 記

#### 1. 会場および日程：

東京会場：平成 30 年 7 月 18 日（水）13：00～17：00 アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

大阪会場：平成 30 年 7 月 20 日（金）13：00～17：00 建設交流館 グリーンホール（大阪市西区）

福岡会場：平成 30 年 7 月 24 日（火）13：00～17：00 天神ビル（福岡市中央区）

仙台会場：平成 30 年 9 月 14 日（金）13：00～17：00 ハーネル仙台（仙台市青葉区）

#### 2. プログラム（予定）

時刻	内容	講師			
		東京会場 7月18日（水）	大阪会場 7月20日（金）	福岡会場 7月24日（火）	仙台会場 9月14日（金）
13：10～13：30	開会挨拶 主旨説明	池田 尚治 (複合研究機構) 酒井 秀昭 (中日本高速道路)	酒井 秀昭 (中日本高速道路)	酒井 秀昭 (中日本高速道路)	酒井 秀昭 (中日本高速道路)
13：30～13：50	全体構成 I 編 基本編	渋谷 智裕 (八千代エンジニアリング)	渋谷 智裕 (八千代エンジニアリング)	渋谷 智裕 (八千代エンジニアリング)	渋谷 智裕 (八千代エンジニアリング)
13：50～15：00	II 編 共通編 1 章 コンクリート橋 III 編 個別構造編 (一般的な橋)	細谷 学 (大成建設) 小林 俊秋 (オリエタル白石)	大村 一馬 (安部日鋼工業) 萩原 直樹 (中日本高速道路)	河邊 修作 (富士ビー・エス)	一宮 利通 (鹿島建設)
15：00～15：10	休 憩				
15：10～16：00	III 編 個別構造編 (特殊な橋) IV 編 付属物・付帯 工編	保坂 勲 (日本構造橋梁研究所) 岡山 準也 (中日本ハウエイ・エンジニアリング 東京)	玉置 一清 (三井住友建設)	志道 昭郎 (ビー・エス三菱)	早川 智浩 (大林組)
16：00～16：30	II 編 共通編 2 章 鋼桁および鋼部材	橋本 幹司 (エム・エムブリッジ)	三浦 芳雄 (横河ブリッジ)	橋本 幹司 (エム・エムブリッジ)	三浦 芳雄 (横河ブリッジ)
16：30	閉 会				

◎土木学会継続教育（CPD）プログラムの認定を受けております（単位数：3.2 単位）。

#### 3. 参加費（マニュアル書籍代含む）：

個人正会員 10,000 円 個人一般 12,000 円 学生会員 6,000 円 学生一般 7,000 円

4. 参加申込方法：

(1) 参加費の支払い方法

郵便局に備え付けの「払込取扱票」を用いて、郵便局からお支払ください（記入方法ご参照）。

講習会の一週間前ごろに「受講票」をお送りいたしますので、ご依頼人のお名前・ご住所等は正確にご記入ください。なお、領収書は、郵便局から発行されます「払込金受領書」となります。

（参加費振込後の返金は、いたしません。当日ご欠席の方には、後日、本マニュアル書籍を郵送いたします。）

(2) 参加申込締切：各会場開催日の1週間前です（定員になり次第締め切りといたします）。

5. 問い合わせ先：〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4番6号（第3都ビル5F）

公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

E-mail：kaiinka27\*jpci.or.jp TEL：03-3260-2521 FAX：03-3235-3370

（メールを送る場合は、\*を@に変えて送信してください）

■払込取扱票の記入方法

00 東京		払 込 取 扱 票										振替払込請求書兼受領証	
口座記号番号		金額										口座記号番号	
001802		538811										001802	
加入者名		料 金										加入者名	
プレストレストコンクリート工学会		備考										プレストレストコンクリート工学会	
通 信 欄		金額										金額	
* 保全マニュアル 講習会参加申込		千 百 十 万 千 百 十 円										おなまえ	
●希望会場を記入して下さい（東京・大阪・福岡・仙台）		おなまえ										* 振替払込請求書兼受領証	
1. 会員種別：個人正会員・個人一般・学生会員・学生一般		ご 依 頼 人										様	
(該当種別を記入してください)		日 附 印										日 附 印	
2. 会員番号： No. _____		料 金										料 金	
3. 参加者氏名：		備考										備考	
4. 勤務先名称：		備考										備考	
おところ（郵便番号）		備考										備考	
* おなまえ		備考										備考	
（電話番号）		備考										備考	
裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号東第53706号）		備考										備考	
これより下部には何も記入しないでください。		備考										備考	

受講票をお送りするご住所となりますので、  
勤務先の場合は、必ず「勤務先名」と「個人名」の両方をご記入ください。

■「コンクリート橋・複合橋 保全マニュアル」の目次構成

I 編 基本編	7章 波形鋼板ウェブ橋
1章 総則	8章 複合トラス橋
2章 構造物が果たすべき機能	9章 斜張橋・エクストラードーズド橋
3章 保全の方法	10章 吊床版橋
II 編 共通編	IV 編 付属物・付帯工編
1章 コンクリート橋	1章 支承
2章 鋼桁および鋼部材	2章 伸縮装置
III 編 個別構造物編	3章 落橋防止システム
1章 プレテンション方式プレキャスト桁橋	4章 排水装置
2章 ポストテンション方式プレキャスト桁橋	5章 防水システム
3章 場所打ち桁橋	V 編 参考資料編
4章 プレキャストウェブ橋	V-i コンクリート構造物および鋼構造物の変状と特徴
5章 鋼橋のPC床版	V-ii 評価および判定方法、判定結果に基づく対策事例
6章 混合桁橋	V-iii 技術の変遷